

事例紹介

事例紹介①

【農でつながる生き生き会議 ～農の新たな価値創出のための対話・交流の場～】

地域住民の農に対する理解、情報共有

平成 26 年に開催した「農でつながる生き生き会議」のような農業者やプレイヤーが繋がり、活動の持続発展や新たな価値を創出する場を作った。福祉、商工、産業分野へも積極的に働きかけを行い、異業種の連携による新たな農に関わる活動の推進力を創出した。



事例紹介②

【ひのうバル・キョテンベジクラブ ～農の新たな販売拠点の創出～ 活動主体:キョテン 107】

市内飲食店やデザイナー(デザイン力)のコラボにより、バルの開催や農作物の販売所の設置、料理教室(販売チャネル)の活動が生まれた。



事例紹介③

【キャナルマーケット ～農をテーマとした新たな価値創出～ 活動主体:キョテン 107】

内容:場所は果樹園。ぶどう狩りチケット販売。参加人数としては約 600 人。新鮮地場野菜の販売の他に、LIVE、木工WS、子ども向けWS、手相見、駄菓子とおもちゃ、ザリガニ釣り、TOYODA BEER、メキシコビール、南インドカレー、オリジナルクラフトビール、日野台ワイン



事例紹介④

【コミュニティガーデン・三鷹市】

東京の三鷹市では、住宅地の中の小さなスペースを利用したコミュニティガーデンづくりが行われています。地域のみなさんと検討会を開き、コミュニティガーデンの想いやテーマ、デザインなどについて話し合い、運営しています。参加メンバーが自ら植栽するなど、住民が主体となって空間づくりや維持管理を担っています。



植え付け作業に関する説明



剪定バサミを使ったメンテナンス



植え付け作業



作業後のティータイム

事例紹介⑤

【農の学校 農的スキルを身に着ける援農市民養成講座 活動主体：日野市】

農業者の高齢化や後継者の不足、相続による田畑の減少している一方、都市化の中で、自然とのふれあいを望む市民も大勢おり、市民団体による「援農」活動を行っている。市民の方々がより高度な援農活動ができるよう、農業知識や技術を習得する場として、「農の学校」を市が開設している。なお、全カリキュラム修了後は、援農ボランティア団体の一員として、農業者の畑で活動することが可能。

●援農活動を実践するための農業知識、技術の修得

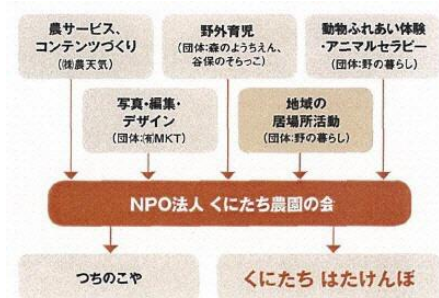
- ・受講期間：1年間
- ・講座による知識の習得：月1回
- ・圃場での実習（土作りから収穫まで）：月2回から5回



事例紹介⑥

【安定した運用を行うために複数の団体による運営を行う 活動主体:くにたち農園の会】

農体験を活動の主軸としながらも、子ども食堂、レストラン、子育て広場、森のようちえん等の複数の活動主体が NPO 法人くにたち農園の会に所属し活動しています。他にも、それぞれの団体が外部の組織と連携し、DVD の映像作成、事業者との連携、婚活イベント、大学サークル活動等幅広い連携を実現しており、結果的に持続的な組織運営を可能としています。



事例紹介⑦

【地域活動に取り組む NPO・市民活動団体を支える寄付 活動団体:(公財)京都地域創造基金】

京都地域創造基金は 2009 年に 300 人以上の市民の寄付で設立されたコミュニティ財団です。皆様の寄付が京都の未来を創ります。子ども教育、医療、障がい者福祉、国際、多文化共生、環境、地域、文化などのカテゴリから多数プロジェクトを展開。

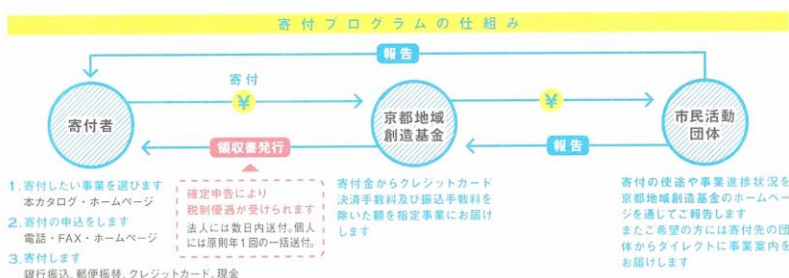
社会の課題解決や地域の活性化などの公益活動を支援したい人々と、公益活動を推進する団体等の双方の想いを具現し、資源の仲介を行い、社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みを構築することにより、持続可能で豊かな地域社会の創造と発展に資することを目的に、事業を展開している。

財団を通しての寄付の総額(2018 年 11 月 22 日時点)は、約 4 億円(6,250 件)。

【事業内容】

- ①公益活動を行う団体に仲介・提供するために、**公益活動に必要な資金等の資源を募り、確保する事業**
- ②公益活動を行う団体に対し、**融資、助成、顕彰**等を行う事業
- ③公益活動を支援するために、**不動産等の資源を活用する事業**
- ④公益活動を行う団体に対し、その経営に**必要な資源を提供する事業** (次ページ続く)
- ⑤公益活動を行う団体及び資源提供者に対するコンサルティング事業
- ⑥公益活動に係る調査研究、**情報収集及び情報発信**に関する事業
- ⑦公益活動を推進するための普及・啓発物品、寄附金付物品及び出版物等の販売
- ⑧社会を構成する多様な主体が公益活動を支え、担う仕組みの検討及び実施に係る事業 等

【寄付の仕組み】



事例紹介⑧

【みどり税 ～地域活動に取り組む NPO・市民活動団体を支える寄付～ 活動団体：横浜市】

横浜市では「横浜みどりアップ計画」を策定し、樹林地を守るための買い取り制度などを導入する一方、その財源については市民税均等割の超過課税により広く市民がその財源を拠出する制度を導入した。「横浜みどり税」の課税方法は、個人は市民税の均等割に年間 900 円を上乗せし、法人は市民税の年間均等割の 9%相当額を上乗せ(欠損法人は免除)するものである。具体的な使い方や年度間の財源調整を図るため、みどり税の税込相当額は「横浜市みどり基金」に積み立て、活用、管理される。

制度創設に至る過程は研究会を設置し、市民アンケートを実施の上検討を重ね、仕組みとして 5 年間の時限措置の制度を設けた。税込規模は年 24 億円で、その税収は基金に積み立て特別会計を通じて「横浜みどりアップ計画」に掲げられた事業に充てるものとしている。それは、財源が不足を理由に超過課税を行うのではなく、独自の施策を実施するために超過課税を行う発想であり、税の用途明確化の為に基金設置と相俟って施策の目的と効果を明確にできる、言わば“やる気の起こる仕組み”である。さらに、施策効果検証には市民参加組織を設置している。

「横浜みどり税」は、独自税制であるが「法定外税は市の固有施策を根拠に活用されるべき」との立場での精緻な手続きを経て実現に至った(「みどり税」は法定外税ではなく超過課税である)。一方では固定資産税の軽減措置を講じた緑の保全創造を実施し、一定の緑化基準を超えて緑化を行っている土地については、上乗せ緑化部分の税額の 1/4 を軽減する制度も設けている。

- 平成 21 年～25 年の「5か年の目標」「みどりアップ計画」その成果
5 か年の目標を設定し、横浜みどりアップ計画(42 事業)を策定し、「樹林地を守る」、「農地を守る」、「緑をつくる」の 3 本の柱で施策を講じている。

◇「樹林地を守る」施策

「緑地保全制度による樹林地の指定」(土地の所有権は地権者に残したまま、樹林地を保全する区域を都市計画で定めたり、10 年以上、樹林地の保全を契約してもらい取り組み)により、その土地の樹林を伐採、家やマンションの建設が出来なくなる代わりに、固定資産税の減免や、樹林地を維持管理する作業費用の一部を市が助成する制度に活かされている。

◇「農地を守る」施策

10 年以上水稻を続けることを条件に、農業者に奨励金を出す水田保全契約奨励事業などがある。

◇「緑をつくる」施策

保育園や幼稚園の園庭、小中学校の校庭などの芝生化への取組などを進めている。

5か年の目標
・緑地保全制度による指定を5か年で現在の約830haから約2倍以上に大幅に拡大
・保全した樹林地の維持管理・利活用の市民協働による推進
・農地の維持継続の支援等を行い、従来の取組に加え5か年で約50haの農地を保全
・市民農園整備等による農への市民参加の推進
・市民協働による地域ぐるみの緑化の展開
・5か年で生垣設置約1km、公共施設緑化約10ha

その他

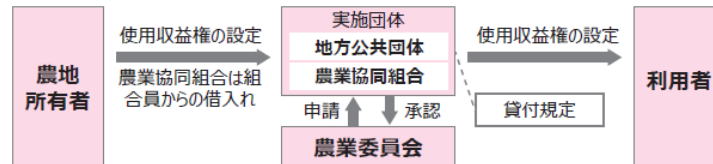
農地の貸借について

都市農地の貸借の円滑化に関する法律施行後に特定農地貸付法に基づき生産緑地に開設する市民農園についても、これまで制度上認められていなかった納税猶予制度適用農地での開設、さらに市民農園を開設中に貸付人である生産緑地の所有者に相続があった場合に所有者の相続人が相続税納税猶予制度の適用を受けることができるようになります。

なお、個人で開設する場合は市と協定廃止条件付きの貸付協定を結ぶことが要件となります。

ただし、市民農園の開設中に所有者(貸付人)に相続が発生し、所有者の相続人が生産緑地の返還を受けて生産緑地の買取申出をする場合には、一定の要件を満たす必要がありますので、市民農園の開設手続きを進める前に十分に確認することが必要です。

1. 地方公共団体及び農業協同組合が開設する場合

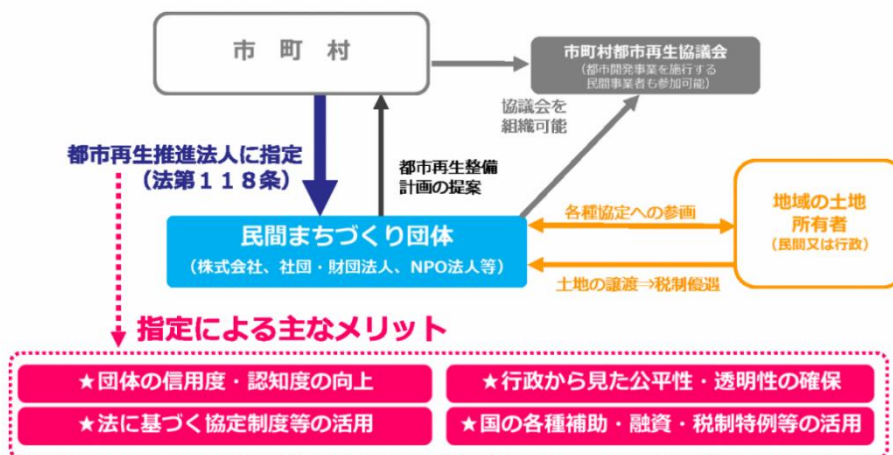


2. 農地を所有している者が開設する場合



都市再生推進法人について

- 都市再生推進法人とは、都市再生特別措置法に基づき、都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき土地の区域のまちづくりを担う法人として、市町村が指定するものをいいます。
- 市町村は、まちづくりの新たな担い手として行政の補完的機能を担うる団体を、都市再生推進法人として指定できます。都市再生推進法人は、自らの業務を行うために必要な都市再生整備計画の作成を、市町村に提案することができます。



- 都市再生推進法人とは、まちづくりに関する豊富な情報・ノウハウを有し、運営体制・人材等が整っている優良なまちづくり団体に公的な位置づけを与え、あわせて支援措置を講ずることにより、その積極的な活用を図る制度です。
- 都市再生推進法人には、市町村や民間デベロッパー等では十分に果たすことができない、まちづくりのコーディネーター及びまちづくり活動の推進主体としての役割を果たすことが期待されます。
- 都市再生推進法人の主な業務
都市再生推進法人は、都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき土地の区域や、立地適正化計画の区域において、以下の業務(一部の業務でも可能)を行います。(法第119条)

【齊萃1】日野市における中学校区別「緑・農・用水路」に関わる活動(その1)

No	中学校区	団体名	目的	活動内容	主な活動エリア	市関係部署
1	一中	緑を愛する会日野	仲田の森蚕糸公園の緑の保全	ミニビオトープの植栽・草刈り・花壇作りなど	仲田の森蚕糸公園	緑と清流課
2	一中	谷中山緑地を守る会	谷中山緑地の保全と里山復活	雑木林の維持管理作業、植生調査と保護、カタクリの見学会や学習会の開催など	谷中山緑地(神明第1緑地～第7緑地)	緑と清流課
3	一中	緑地管理ボランティアの会	東光寺緑地保全地域の保全	崖線の緑の下草刈りや間伐などの手入れ、植物保護、植生調査、学校との社会貢献活動の協働	東光寺緑地保全地域	緑と清流課
4	一中	たんぼの学校実行委員会	たんぼの学校	水田での稲作りを通じて日野市の農業・環境・地域コミュニティを考える	よそう森公園	中央公民館
5	一中	中央公民館・郷土資料館共催	農業体験講座(大豆・スイカ)を育てる	親子で土に触れ、食物を育てることで、自然との共生、人間相互の共生を図る。大豆で豆腐作り。農機具は郷土資料館で昔の道具を借りて実施		中央公民館 郷土資料館
6	一中	日野第一小学校	水田で体験学習	校庭に水田あり		
7	一中	日野第四小学校	水田で体験学習	農家の水田を借用して、苗作りから収穫まで農家が指導。校庭の田んぼではプランティアが稲作りを行い、児童は観察のみ。		
8	一中	仲田小学校				
9	一中	NPO法人子どもへのまなざし	子どもが主人公の居場所作りを通して「子どもがいるからつながる人の輪」を広げる	プレーパーク開催・野外保育「まめのめ」運営・遊び事業・人の輪事業・仲田の森蚕糸公園等清掃管理事業	仲田の森蚕糸公園・川や丘陵地・西平山古民家	
10	二中	南丘陵雑木林を愛する会	「明るく健全な雑木林を次世代に」	南平丘陵公園を中心に雑木林の萌芽更新や維持管理作業等	南平丘陵公園 近隣雑木林	
11	二中	東豊田緑湧会	東豊田緑地の保全	東豊田緑地保全地域の手入れ・管理・企業や学校との社会貢献活動、保全計画の協働策定	東豊田緑地保全地域	緑と清流課
12	二中	豊田第四自治会	自治会活動中、緑と水の活動をサークルで実施。区画整理地内公園予定地の自然・景観保全と、人も生きものも居心地のよい居場所づくり	矢崎橋やすらぎ苑は公園予定地だが、民間の助成金で公園の設計・デザインを行い管理を実施、用水整備、整備前の土地を預かり緑地(花壇)とする。	自治会地域	区画整理課
13	二中	カワセミハウス環境分科会	環境関連のイベントを通して市民への啓発	イベントの企画・実行	日野市内	環境保全課
14	二中	日野第五小学校	水田で体験学習	校庭に水田あり。井戸水使用。農家が手伝う。		
15	三中	NPO法人樹木・環境ネットワーク	人と自然のつながりがりを大事にする持続可能な社会づくり	里山保全活動・自然体験の企画実施・人材育成の検定事業・多摩動物公園の森で保全活動と各種事業	(日野市内では) 多摩動物公園の森	
16	三中	岩橋保晴	有機野菜とシイタケ作り	七生福祉園にてシイタケ・野菜作りの指導講師を、週2日くらい行っている。	七生福祉園の畑・雑木林	
17	三中	七生緑小学校				
18	三中	夢が丘小学校				
19	三中	石坂ファームハウス(自然の恵みを楽しむ会)	都市農業の理解と食農教育・福祉農園	田んぼ含む農業全般の農体験・餅つき・わらリース作りなど。農業文化の伝承。	石坂ファームハウス	
20	三中	倉沢里山を愛する会	里山保全と景観維持	里山の手入れ・維持管理・工口循環をととした高齢層の社会参加機会の提供など	倉沢地区の公有緑地	
21	四中	生沼組(生沼さんと支える方達)	たんぼづくり・野菜作り・学校支援など	社協の児童部会の部長さん(90才)。自身も農業者なので、子供たちに農体験を指導。	万願寺中央公園	緑と清流課
22	四中	生沼組(生沼さんと支える方達)	たんぼづくり・野菜作り・学校支援など	社協の児童部会の部長さん(91才)。自身も農業者なので、子供たちに農体験を指導。	四小	小学校
23	四中	日野第六小学校	水田で体験学習	水田はない		
24	四中	旭が丘小学校				

【齊萃1】日野市における中学校区別「線・農・用水路」に関わる活動(その2)

No	中学校区	団体名	目的	活動内容	主な活動エリア	市関係部署
25	大坂上中	農の学校	農業者の担い手不足を補う、農業者の支援	「農の学校」を開設し、農業知識と技術を習得してもらう 環境ボランティアの育成	七つ塚ファーマーズセンター	
26	大坂上中	NPO法人めぐみ	都市農業の支援と振興・農地の保全	農産物等の生産、流通、消費を支援協働する事業・市民と農業生産者の交流を図る事業・農地・里山の保全と活用を図る事業など	七つ塚ファーマーズセンター	
27	大坂上中	日野第三小学校	水田で体験学習	農家の水田を借用して、苗作りから収穫まで農家が指導。		
28	大坂上中	日野第七小学校	水田で体験学習	水田はない		
29	大坂上中	東光寺小学校				
30	七生中	たんぼの学校実行委員会	たんぼの学校	水田での稲作りを通じて日野市の農業・環境・地域コミュニティを考える	南平	中央公民館
31	七生中	南平・緑と水のネットワーク	南平の歴史的環境資源を守りつなげ、まちの再発見と豊かな暮らし作り	南平駅前「11ほけつと広場」をつくり、その維持管理。駅周辺を考えるアンケートやワークショップの開催。地域イベント実施など。	南平駅前用水路沿い みなみだいら児童館	緑と清流課
32	七生中	古池初美	たんぼの保全と活用	自治会と農業者を中心としたたんぼづくり	川辺堀之内	区画整理課
33	七生中	豊田小学校	水田で体験学習	校庭に水田あり、井戸水使用		
34	七生中	南平小学校	水田で体験学習	校庭に水田あり。井戸水使用。農家が手伝う。		
35	平山中	浅川滝合水辺の薬草運営委員会	浅川とピオトーブでの水辺体験	滝合小学校生徒を中心に浅川清掃や食体験など	浅川など	
36	平山中	日野産大豆プロジェクト	地元採れた大豆を学校給食で子供たちに食べてもらう・食農教育	栄養士・調理員・農業者・大学生・市民が協力し、農家や学童が育てた大豆を学校給食で活用。	東光寺地区	
37	平山中	えんこらしよ	仕事を通じて人々の暮らしや地域社会を豊かにする	空き屋事業で場所を確保して「おしやべりカフェ」(毎木曜日)・石鹸を使用した掃除事業・民家の庭木果樹でマーマレードなど製造	日野市内	地域協働課
38	平山中	平山小学校	水田で体験学習	水田はない		
39	平山中	滝合小学校	水田で体験学習	校庭に水田あり。井戸水使用。農家が指導、水辺の薬草が運営		
40	三沢中	潤徳小学校 浅川潤徳水辺の薬草	水田で体験学習 浅川と向島用水で遊びながらの環境学習	潤徳小学校生徒を中心に水辺体験やたんぼ作り 農家の水田を借用して、苗作りから収穫まで潤徳水辺の薬草が指導。浅川でどんと焼きも	浅川・向島用水・新井のたんぼ	緑と清流課
41	三沢中	まちの生ごみ活かし隊	第八小学校区域の生ごみ減量・環境教育・農体験・コミュニティづくり	コミュニティガーデンせせらぎ農園の運営。約200世帯の生ごみ回収・運搬・たい肥化・野菜作り事業。学校施設での園ちゃん野菜作り支援。たんぼの援農	新井の農地	ごみゼロ推進課
42	三沢中	真堂が谷戸虫の会	真堂が谷戸における生物多様性を考慮した里山の保全活動	雑木林の管理とホタルの保全、たんぼの復元(40坪)と稲の不耕起栽培・日野市「ホタルのタベ」開催	真堂が谷戸	
43	三沢中	日野団塊世代広場	健康で生活を楽しみながら地域づくりに貢献。百草山での「明るい雑木林」づくり・イベント手伝いなど	雑木林ボランティア講座修了を中心に百草山の手入れ作業・どんぐりクラフト・竹ぼっくりの製作・腐葉土作りなど	百草山雑木林	
44	三沢中	日野の水車活用プロジェクト	公園の水車を活用することで、日野の歴史と用水路の意義を知り、自然エネルギーの可能性を伝える	水車で精米・石臼体験の実施、小学校の学習支援、小水力発電の検討など	向島用水親水路内の水車小屋	緑と清流課
45	三沢中	ひの炭焼きクラブ	炭焼きは地球を救うを合い言葉に、炭の活用と普及	お華炭や鑑賞炭を焼いて、炭の持つ力(土壌改良・空気浄化・水質浄化・燃料)を体験	ひの市民活動支援センター たんぼ 落川交流センター	
46	三沢中	トトロの畑	農とふられあう暮らしの提案	市民有志で地主さんの援農作業・日常の野菜を作りながら農業技術、生物の多様性学習	新井の柿畑・たんぼ	
47	三沢中	TANBONOWA	自然農法によるたんぼづくりの輪を広げる	たんぼづくり体験 落川交流センターひょうたんたんぼの維持管理	新井の田んぼ 落川交流センター	
48	三沢中	落川交流センター運営委員会	落川交流センターの管理・運営・地域交流創出	地域12自治会と市民団体が連携し、「ケガと弁当自分持ち」の精神で地域交流イベントを開催。園内の雑木林とたんぼの手入れなども行う。	落川交流センター	地域協働課

【齊萃1】日野市における中学校区別「緑・農・用水路」に関わる活動(その3)

No	中学校区	団体名	目的	活動内容	主な活動エリア	市関係部署
50	三沢中	わらぞうり保存会	わら草履やしめ縄など、作り方の継承	夏の草履・秋のわら草履・年末にしめ縄作り	八小・郷土資料館	郷土資料館
51	三沢中	日野第八小学校	水田で体験学習	ピオトーブに水田があるが、バケツ稲で稲作り		
52	市内・広域	浅川流域市民フォーラム	水辺環境保全・流域行政への提言	浅川の河川環境や河川工事について国や地方公共団体との協議、水質調査・水質マップ作成・浅川清掃活動	浅川・大栗川・程久保川・谷地川	
53	市内・広域	ひの市民リサイクルショップ回転市場	モノを大切に、ごみになる物を買わない、出さない暮らしをめざす	市民から無償で提供された中古衣類・雑貨品などの販売	万願寺店・多摩平店	地域協働課
54	市内・広域	ひのどんぐりクラブ(日野市環境学習サポートクラブ)	日野市内小・中学校の体験学習支援	野外での体験学習支援・自然物を使った工作などの学習支援	市内小・中学校	環境保全課
55	市内・広域	日野の自然を守る会	日野の自然を守り、市民に自然尊重の心を養い、その保全と復元に努力し、人間性豊かな社会の発展に寄与	自然保護に関する啓蒙普及・調査・研究・観察会・研究会などの実施・大木島自然公園の手入れ	日野市を中心として関東一円	緑と清流課
56	市内・広域	日野みどりの推進委員会	緑地の保護・保全の必要性を参加者にアピールし、保全作業へのボランティア参加・協力を呼びかけている	自然観察会を市と共催して毎月実施。市の行事などへの協力	南平丘陵公園・市内外緑地	緑と清流課
57	市内・広域	ひの緑のトラスト	日野市内雑木林の公有化のための募金活動	イベントなどでの募金活動。緑の保全(公有化)のための募金活動や要請活動	市内全域	緑と清流課
58	市内・広域	ひの・まちの生ごみを考える会	日野市内の生ごみ減量と地域内循環のしくみづくり	日野市ごみゼロ推進課と協働で、生ごみリサイクルサポーター活動、イベント企画・実施、ダンボールコンポストの普及、まちの生ごみ活かし隊の立ち上げ	市全域	ごみゼロ推進課
59	市内・広域	ふだん着でCO2をへらそう事業	CO2削減	省エネの啓蒙・環境学習・環境フェアの開催・地球温暖化対策に向けた事業など	市全域	環境保全課
60	市内・広域	みずとくらす・ひの	日野の水辺環境を後世に残す	水辺のある風景50選プロジェクトで選定された50箇所に小学校などと連携したオブジェ作り・標識作り・水辺50選のガイドツアー	全用水路	緑と清流課
61	市内・広域	水と緑の日野・市民ネットワーク	緑や水の保全について各自然保護団体の連携により次世代へ引き継ぐ	「雑木林ボランティア講座」「市民環境大学」開講。定期シンポジウム開催	市内全域	緑と清流課
62	市内・広域	水の郷日野ビジョン450	日野用水開削450周年記念シンポジウムで採択された「共同宣言」の実現	日野市の用水や田んぼの保全活動・浅川の水量減少や用水取水堰の問題について	日野市内及び浅川流域	緑と清流課
63	市内・広域	NPO法人日野子育てパートナーの会	人と人が共に育ち合い、支え合って、安心して子育てできるまちづくり	気鞋に立ち寄れる子育て広場「みんなのはらっぱ」を、万願寺・南平・東宮下で運営。万願寺交流センターでは生ごみ堆肥で花壇作り実施。	南平駅西交流センター 万願寺交流センター 東宮下地区センター	地域協働課
64	市内・広域	NPO法人日野人・援農の会	援農ボランティア事業の推進における、農業の担い手不足対応	農の学校修了者への援農先紹介と斡旋。援農のマッチング。用水路の定期清掃。	七つ塚ファーマーズセンター 交流農園	
65	市内・広域	NPO法人ひの市民活動団体連絡会	中間支援組織として、市民団体活動団体の様々な支援	市民参加・交流の促進・市民活動相談・団体新設支援・市民活動支援センターの運営など	ひの市民活動支援センター	地域協働課
66	市内・広域	里山耕戻くらさわ	豊かな自然を守り、育みながら、障害のある人もない人も誰もが自分らしく暮らせる地域社会の実現	障がい者の通所施設。障害を持った方と一緒に畑を耕して野菜を販売している。	多摩地域	
67	市内・広域	(一社)畑会	都市農業の支援	農業体験イベント、農家さんの援農活動、イベント支援、シンポジウムや勉強会開催など	多摩全域	
68	市内・広域	環境基本計画推進会議 みどりグループ	環境基本計画(農地含む)の施策の推進	環境セミナーを環境保全課と共催で実施	日野市内	緑と清流課 環境保全課
69	市内・広域	日野市・小水力発電を実現する市民の会	用水路を活かした小水力発電の実現	小水力発電の開発と商品化・ビジネスモデルの構築	日野市内	環境保全化
70	市内・広域	田んぼの保全 検川直子	田んぼの保全	田んぼを通じた環境教育	現在田んぼと人材募集中	
71	市内・広域	東京緑農会	東京を中心とした都市農家さんや農に興味を持つ人との関係人口を増やす(2019年)	東京を中心とした農家さんへの援農・交流	東京都、及びその周辺	

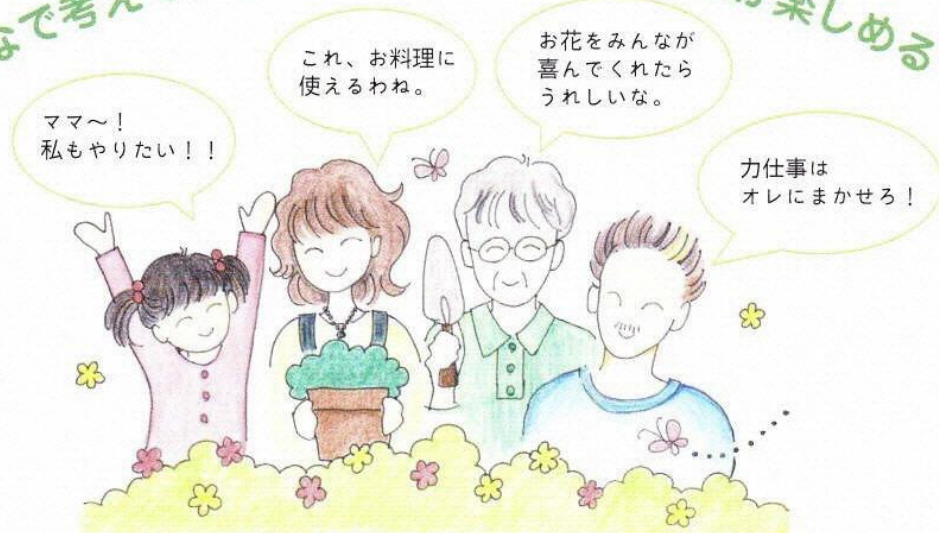
【資料2】コミュニティガーデンづくりのステップ

「コミュニティガーデナー 養成講座テキスト」 特定非営利活動法人 NPO birth 発行より

コミュニティガーデンとは

コミュニティガーデンは「地域の庭」。まちかどの花壇や公園、マンションの中庭など、場所もさまざま、大きさや形もいろいろです。仲間と一緒に愛着をもって手入れをし、つくる人や見て楽しむ人の笑顔があれば、コミュニティガーデンです。

みんなで考えて、みんなで作って、みんなが楽しめる！！



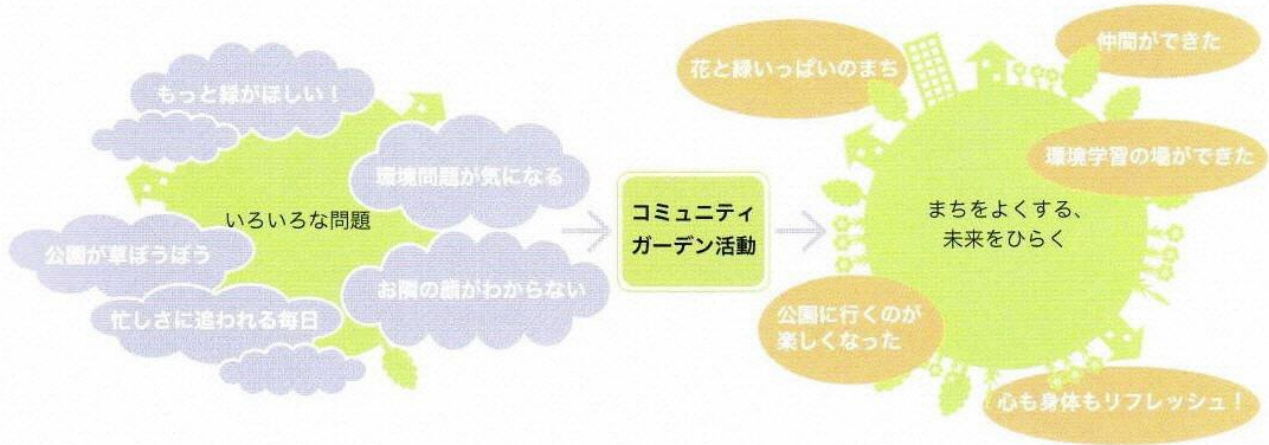
コミュニティガーデンの3つのキーワード

コミュニティガーデンは、参加するメンバーが楽しく活動できてはじめて、その成果があらわれます。そのために大切にしたいのが、次の3つのキーワードです。



■ コミュニティガーデンが注目されているわけ

現代社会には都市の環境問題や、地域の人のつながりが希薄になっているなど、問題が山積んでいます。それらの問題を解決し、よりよいまちを創っていく手法のひとつとして、コミュニティガーデンが社会の注目を集めています。



コミュニティガーデンの歴史

コミュニティガーデンは、1970年代にフィラデルフィア、サンフランシスコ、ニューヨークを中心にはじまったとされています。ニューヨークにおけるコミュニティガーデン活動は、一人の女性の働きかけが地域を蘇らせる運動へと発展してきました。当時、不景気からまち全体が荒廃し、空き地には不法投棄のゴミがあふれ、犯罪の温床になっていました。それを見かねたリズ・クリスティーという女性が立ち上がり、周囲に働きかけ、ゴミを取り除き、木や花を植えて、空き地を公園のような空間に再生したのが始まりといわれています。



「クリエイティブ・リトルガーデン」
(The Creative Little Garden)
米国ニューヨーク市
ニューヨーク市には550以上のコミュニティガーデンがあり、グリーンサム(GreenThumb：市のプロジェクト)や民間企業の支援を受けて、市民による多彩な活動が行われている。



「インテルコーポレーション・コミュニティガーデン」
(Intel Dupont Community Garden)
米国デュポン市
半導体メーカー「インテル」が、持続可能な社会を目指し、自社と地域とのつながりを作るため、またフードバンク支援のために運営する菜園型のコミュニティガーデン。

コミュニティガーデンとは

はじめに、コミュニティガーデンについての基礎知識を学ぶ入門講座を行います。

講座のスタートは、自己紹介からはじまります。どんな想いで講座に参加したのか、お互いの気持ちをわかちあうことが、仲間づくりの第一歩となります。



次に、コミュニティガーデンの魅力や可能性について、各地の事例を交えながら、じっくり学びます。



step1 みんなで考える

step1 は、ガーデンの基本方針となるコンセプトワークからはじまります。みんなでガーデンづくりへの想いを出しあいます。次にガーデンを取りまく条件を調べます。日当たりや風通しはどうか、どんな人が訪れるのか、誰が手入れするのかなど、ひとつひとつ確認します。そのうえで、ガーデンづくりの基本方針であるコンセプトを決定します。



みんなが納得するコンセプトが決まったら、次はデザインワークです。

まず、季節に応じたテーマを考えるイメージづくりを行います。

次に、テーマカラーを決め、植物を選びます。パーツ（植物の型紙）を使った実習を通して、ガーデンの形に応じたデザインを作っていきます。デザインが決まったら、平面図を描き、植物の株数を決め、予算書を作ります。どんなガーデンができるのか、具体的に見えてきて、一番わくわくする作業です。



step2 みんなでつくる

→ デザインができました！ step2 では、いよいよガーデンワークに入ります。ガーデンワークの準備は、道具や材料の調達からはじめます。作業に入る前には計画を立て、どんな流れで作業をするかを確認しあいます。



準備が整ったら、植え付け作業に入ります。ガーデンで一番大事な土づくりを行い、苗を配置し植え付けます。最後にしっかり水やりをして完成！



植栽が終わったら、道具の手入れなど、片づけ作業に入ります。活動日誌を書いて、作業終了です。

step3 みんなが楽しめる

→ コミュニティガーデンはつくっておしまい、ではありません。お手入れや植物の活用、ガーデンパーティなど、ガーデンライフを満喫しましょう！



コミュニティガーデンは、草花を命の糧とする鳥や虫など、小さな生き物たちが集まるオアシスでもあります。手入れや活用を通じて、そんな生き物たちの息づかいを感じてみましょう。



コミュニティガーデンからはじまるまちづくり

一緒にガーデニング作業を楽しむ仲間との出会い、通りすがりの人との出会い…コミュニティガーデン活動は、たくさんの人たちとの「出会い」にあふれています。

コミュニティガーデナーがめざすのは、人も自然も、みんなが幸せになる「みどりのまちづくり」です。